

取扱説明書

EN-SND100



お買い上げありがとうございます。
お使いになる前にこの説明書を必ずお読みください。
また保証書と一緒にいつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

特長

◆簡単な接続

PCとスピーカに接続するだけ

◆簡単な操作

音量とマイクスイッチだけの簡単操作

◆クリアな音質

プロの音質に負けないクリアな音声

◆自己拡声に対応

広い部屋でも発言者の声が通ります

◆エコーが起きない

テレビ会議に最適な音響ユニット

目次

△ 警告 / 注意		2
各部の名称と機能 (フロントパネル)		3
各部の名称と機能 (リアパネル)		4
簡単な接続イメージ		5
PCのセットアップ		6～9
基本的な使い方		10
ワイヤレスマイクの使い方	..	11
テクニカルデータ		12



警告

発熱、損傷、けが、火災、感電、故障などを避けるため下記のことを必ずお守りください。

- AC100Vの電源に使用してください。
- ジャックに異物を入れないでください。
- 異常な音、煙、臭いやコードなどの発熱、損傷などが出したら、直ちに電源プラグを抜き、お買い上げの代理店か、当社までお問い合わせください。
- 電源コードは、無理な力(重いものをのせる、引っ張るなど)を加えないでください。
- 分解や改造はしないでください。
- 強い衝撃を与えないでください。
- 電源コードのアース端子は必ずアースに接続してください。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。



注意

- 電源プラグの抜き差しは、必ずプラグ部を持って行ってください。
- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かないでください。
- 水がかからないようにしてください。
- 火気に近づけないでください。
- 布などでおおわないでください。
- 長時間使用しない時には、電源プラグを抜いてください。
長い間保存するときには、機器をビニール等で包み、湿気を帯びないようにしてください。

設置上の注意

- 本機はラジオやテレビなどに影響を与える場合があります。
なるべくこれらから離して設置してください。

メンテナンス上の注意

- 汚れたときやほこりが付いたときは、電源プラグを抜いてから、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
- ベンジン、シンナーなどは使わないでください。
また、コンセント部やプラグ部に接点復活保護液を使わないでください。

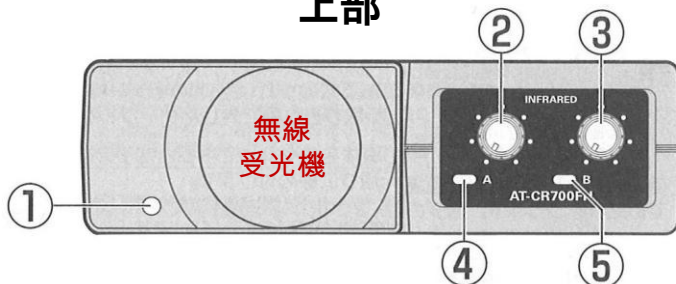
各部の名称と機能

フロントパネル



無線マイク受光器

上部



①受光ユニット電源LED

電源が入ると赤色に点灯します。

②Aチャンネルボリューム

Aチャンネルの受信音量の調整をします。
(最適位置12時方向)

③Bチャンネルボリューム

Bチャンネルの受信音量の調整をします。
(最適位置12時方向)

④Aチャンネルマイクインジケータ(黄)

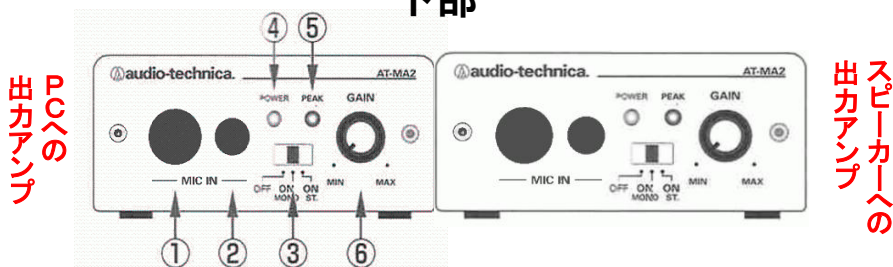
Aチャンネルのマイク信号を受信すると点灯します。

⑤Bチャンネルマイクインジケータ(緑)

Bチャンネルのマイク信号を受信すると点灯します。

下部

マイクアンプ 2台



①マイク入力端子(φ 6.3標準プラグ)

マイクロホンを接続します。

②マイク入力端子(φ 3.5ミニプラグ)

マイクロホンを接続します。
*①と②の両方の端子を同時に使用することはできません。

③電源スイッチ(ステレオ/モノラル切替兼用)

OFF :電源が切れます
ON MONO :モノラルマイクロホンを使用するとき。
ON ST :ステレオマイクロホンを使用するとき。

④パワーインジケータ(Power)

メイン電源をONにすると点灯します(緑)

⑤ピークインジケータ(Peak)

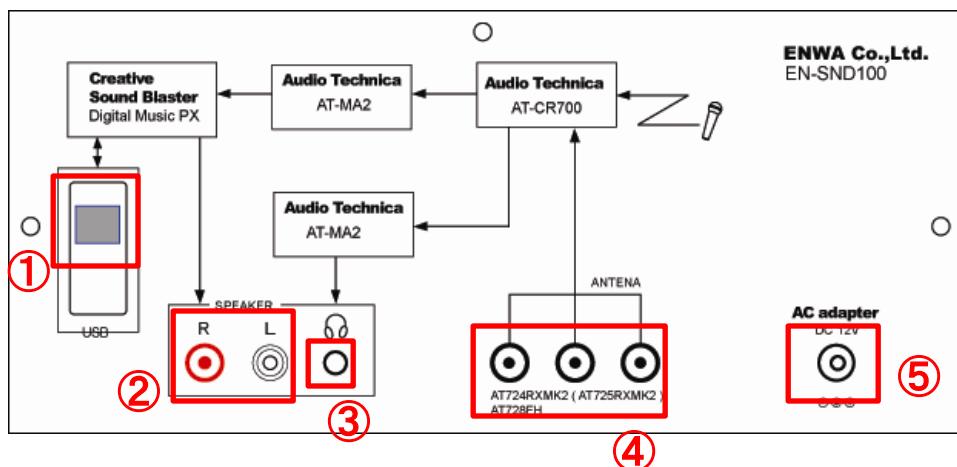
過大な音声信号が入力されると点灯(赤)します。
* 電源スイッチ、プラグインパワーON/OFFスイッチを切り換えた時に一瞬点灯することがありますが、異常ではありません。

⑥ゲインコントロール(Gain)

マイク感度を調整します。ピークインジケータが頻繁に点灯する場合は、最大の入力音声で点灯する程度に下げてください。

各部の名称と機能

リアパネル



①PCとのUSB接続コネクタ

USBケーブルを使ってPCと接続します。

*下部にDIGITAL ONLY と DIGITAL/ANALOG の切換ができる
ツマミがありますが、DIGITAL/ANALOG の方にツマミを合わせてご使用ください。

②スピーカー出力RCAコネクタ

スピーカーと接続し音声を出力します。

③スピーカー出力3.5ミリミニジャック

ヘッドフォン等に音声を出力することができます。

④追加アンテナRCAコネクタ

セカンドアンテナを接続し、ワイヤレスマイクの使用可能範囲を広げます。
最大3つまで接続可能です。

⑤12V電源ACアダプタ

電源コードを接続します。

簡単な接続イメージ

接続イメージ図



※接続手順

- ① 音響ユニットに電源ケーブルを接続し、Powerスイッチを押して電源が入るかを確認します。
音響ユニットおよびスピーカの電源をOFFにして、音響ユニットとスピーカを接続します。
- ② PC本体と音響Unitを付属のUSBケーブルで接続します。
その後、音響ユニットおよびスピーカの電源を入れます。
- ③ 初めてお使いの場合は、ドライバをインストールしてください。(詳細はP6～7参照)
- ④ サウンドデバイスの設定を行います。(詳細はP8～9参照)
- ⑤ マイクの電源を入れ、音声のチェックをしてください。

PCのセットアップ

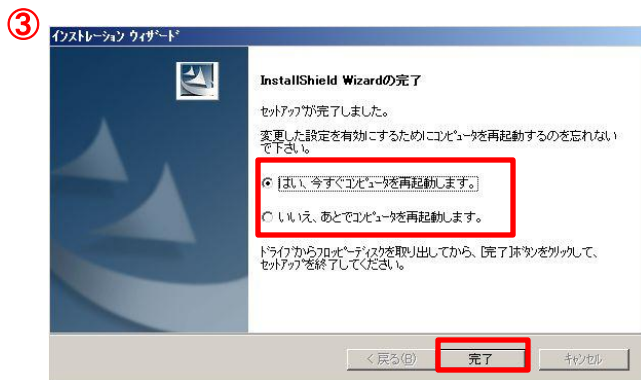
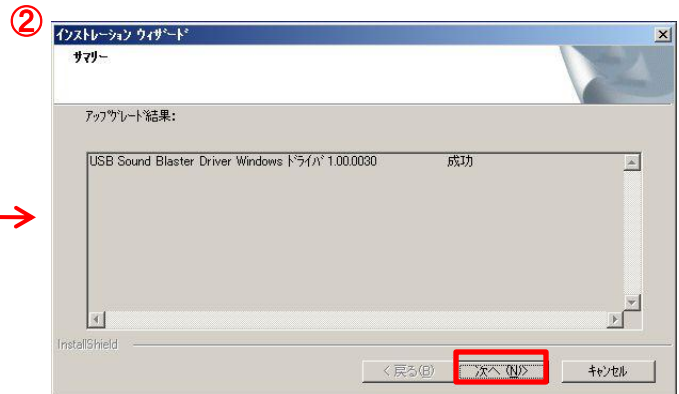
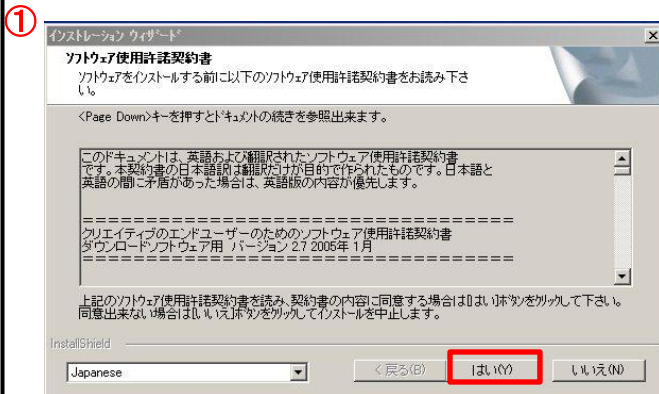
専用インストールCDを使つてのSound Blaster Driver のインストール

- ◆まず、インストールCDを起動させます。
起動後、「EN-SND100」→「Driver」の順にフォルダを開きます。
その後、「**readme**」ファイルを開いて、操作手順などを最初にご確認ください。



◆XP版のインストール

XPフォルダを開いて、インストーラーを実行します。(※EN-SND100をPCに接続した状態で行ってください)



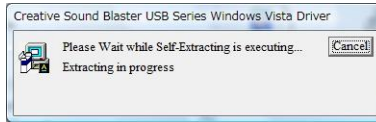
順に進んでいきセットアップが完了したら、PCを今すぐに再起動するか、後で再起動するかを選択して、「完了」をクリックします。

PCのセットアップ

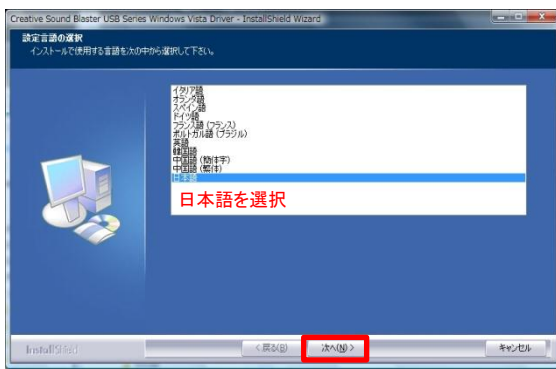
専用インストールCDを使つてのSound Blaster Driver のインストール

◆Vista版のインストール

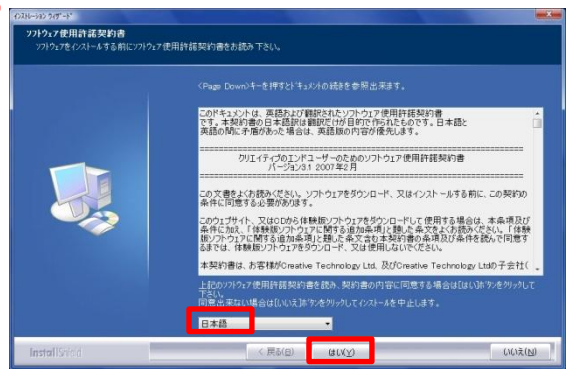
Vistaフォルダを開いて、インストーラーを実行します。(※EN-SND100をPCに接続した状態で行ってください)



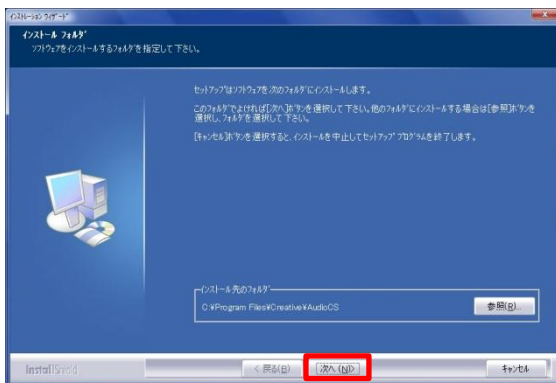
①



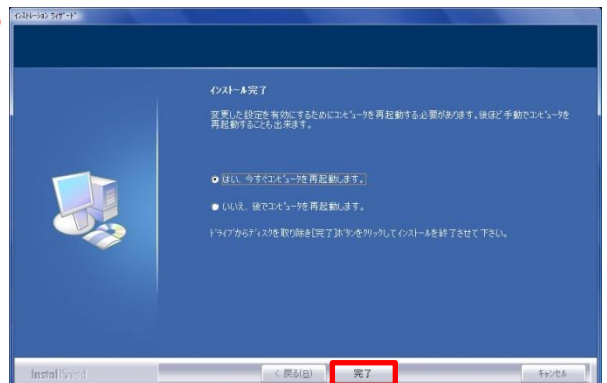
②



③



④



順に進んでいきセットアップが完了したら、PCを今すぐに再起動するか、後で再起動するかを選択して、「完了」をクリックします。

PCのセットアップ

PC(サウンド)設定の注意点

～設定のポイントは2つです～

1. 再生デバイス

不要デバイスのミュート



設定のポイント : 不要デバイスのミュート

調整ミスの場合 : 相手にループエコーが返ります。

2. 録音デバイス



ラインインを選択

設定のポイント : ラインインを選択

調整ミスの場合 : 相手にこちらの声が届きません

※良好な音質が得られない場合は、USB2.0ハブの利用を推奨致します。

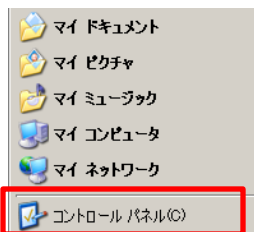
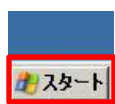
※ライン入力機器は、Creative社製SoundBlaster (DigitalMusicPX) が使用されています。

サウンドデバイスの設定 (XP)

1. コントロールパネルの起動

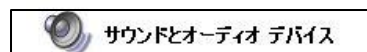
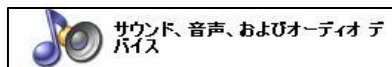
「スタートボタン」 → 「コントロールパネル」

PC画面左下

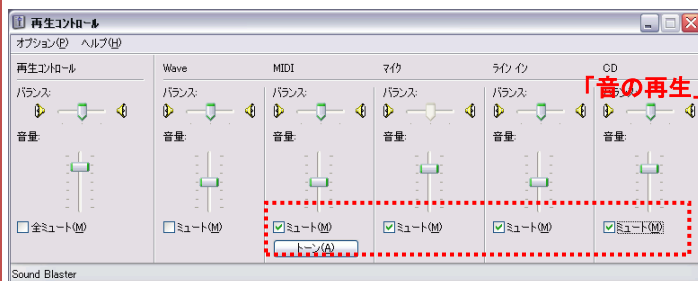


2. サウンドとオーディオデバイスの起動

「サウンド、音声、およびオーディオ デバイス」
→ 「サウンドとオーディオ デバイス」



3. 再生デバイスにおける不要デバイスのミュート



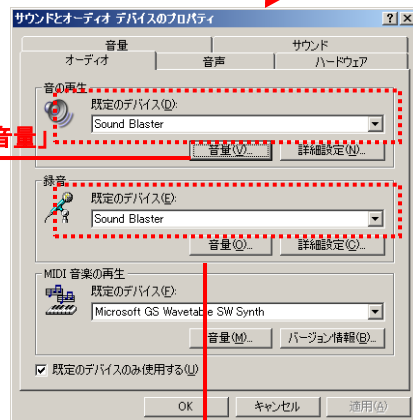
※「ボリュームコントロール」と「Wave」以外はミュートして下さい。

※項目が無い場合は、「オプション」→「プロパティ」も中のデバイスにチェックを入れて表示させて下さい。

4. 録音デバイスにおけるラインインを選択



「ラインイン」の「選択」にチェックを入れる
※ラインインが選択されない場合は、音が入力されません。つまり、音声が届きません



既定のデバイスを選択

「録音」→「音量」

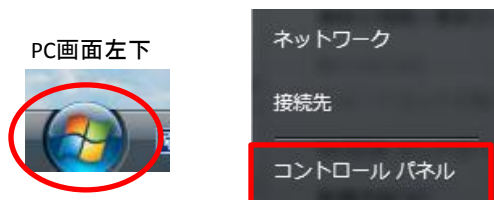
「Sound Blaster」を既定のデバイスに設定してください。

PCのセットアップ

サウンドデバイスの設定 (Vista, 7)

1. コントロールパネルの起動

「スタートボタン」 → 「コントロールパネル」



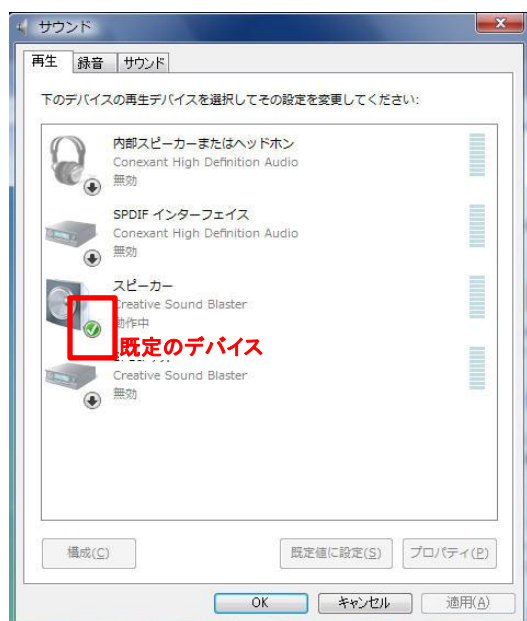
2. サウンドの起動

「ハードウェアとサウンド」 → 「サウンド」



3. 再生・録音デバイスの選択

サウンドデバイスの選択をします。



①「Creative Sound Blaster」もしくは、「USB Audio」が既定のデバイスとして設定されているかチェックしてください。
(※録音デバイスは、「ライン イン」を選択して下さい。)

既定のデバイスとして設定されている場合は✓マークが入っています。(※上図 赤枠参照)

既定のデバイスとして設定されていない場合は、デバイスを選択し、
「右クリック」 → 「既定のデバイスとして設定」の順に実行してください。

②既定のデバイスを設定したら、そのデバイスを選択し「右クリック」 → 「プロパティ」の順に実行し、
プロパティ画面の「レベル」タブをクリックしてください。画面が切り替わります。その画面でボリュームの調整や、
ミュートになっていないかの確認をしてください。

③スピーカからの自己拡声をOFFにするなどの設定は、①で既定のデバイスとして設定したスピーカーを
選択して、「右クリック」 → 「プロパティ」 → 「レベル」の順に進んで頂きますと、「マイク」という項目が
ありますので、そちらで調整をお願い致します。

基本的な使い方

①音響ユニットは、PC・スピーカなどとの接続を確認してから電源スイッチを入れてください。

②無線マイクには、2つのチャンネルがあります

Aチャンネル(黄色いツマミ)は、黄色の帯のついたワイヤレスマイク、
Bチャンネル(緑のツマミ)は、緑色の帯のついたワイヤレスマイクに対応しており、
マイクのスイッチをONにすると、マイクインジケータが黄色、または緑色に光ります。
また、ツマミを回すことで、それぞれのマイクボリュームの調節ができます。



③無線マイクのスイッチを入れたら、PC・スピーカから音声がでるかどうかをチェックします。
左側の出力アンプはPCへ音声を出し、右側の出力アンプはスピーカへ音声を出します。
音声がでない場合、出力アンプのゲインコントロールのツマミの位置がMINになっていないか、
また、PC・スピーカとの接続に問題がないかを確認してください。

PCへ音声を出します

スピーカへ音声を出します



ゲインコントロール

④ワイヤレスマイクの電波発信部分と受光機との間に障害物があると、
ノイズが入ることがありますので注意してください。特に無線マイクの下部分を
手で覆いますとノイズが発生する原因になります。

※詳しくは次項を参照してください。

ワイヤレスマイクの使い方

1. 電波(赤外線)を遮断しないように利用する

音響ユニット



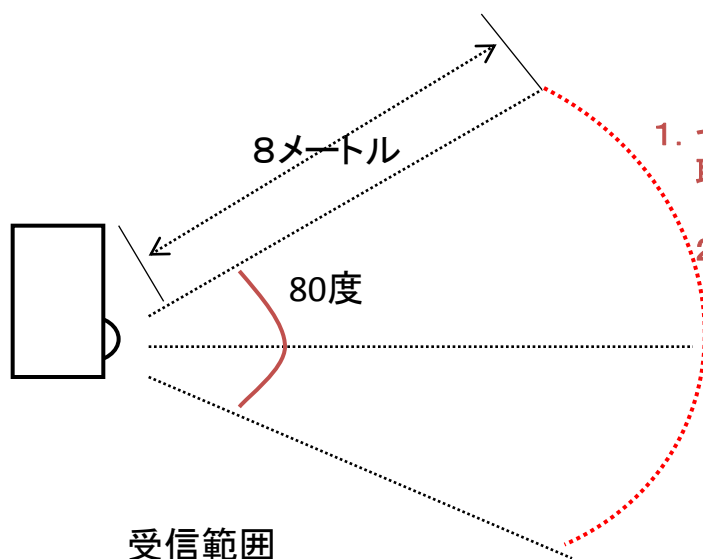
受光器部分



電波発信部分

1. 音響ユニットとマイクの発信部分は出来るだけ遮断しないように設置する
2. マイクの電波発信部分を手で覆わないようにしてマイクを持つようにする。

2. 受光器受信範囲



1. セカンドアンテナ(受光器)を3個まで取り付けることが出来ます
2. 音響ユニットのみの時は配置にご配慮お願いします

テクニカルデータ

AT-CR700

項目	詳細
チャンネル数	2チャンネル
受信周波数 (CH.A/B)	A : 2.06MHz / B : 2.56MHz
出力レベル	マイク: -45dBV (VOL MAX時) ライン: -30dBV (VOL MAX時)
電源	DC12V、500mA (ACアダプター AD1205JA)
外形寸法	H38×W130×D131mm
質量	344g
付属品	ACアダプター (AD1205JA)、 3.0m接続ケーブル×2 (RCAピン←→φ6.3モノラルL型標準ブ ラグ、RCAピン←→RCAピン 各1)、 木ネジ×2、マジックテープ1組、 受光ユニット用ケーブル10m

AT-MA2

項目	詳細
定格出力レベル	−10dBV
最大出力レベル	+2dBV(1kHz、T.H.D1%時)
周波数特性	20Hz〜20,000Hz(−3dB)
利得	+20dB (GAINがMINの時)、 +50dB (GAINがMAXの時)
最大許容入力	−18dBV (GAINがMINの時)
全高調波歪率	0.05% (GAINがMINの時)、 0.2% (GAINがMAXの時)
入力換算ノイズレベル	−110dBV (GAINがMINの時)、 −120dBV (GAINがMAXの時)
電源	DC9V (ACアダプター)
消費電流	30mA (最大)
入力端子	マイク入力 (φ6.3標準ジャック/φ3.5/3極 ミニジャック)
出力端子	ライン出力 (RCAピンジャック×2)
外形寸法(突起部除く)	H30×W70×D92mm
質量(本体のみ)	約160g
付属品	ACアダプター AD901 (改良などのため予告なく変更すること があります。)

Sound blaster

項目	詳細
外形寸法(WxHxD)/重量	約119×26×69mm / 約116g
インターフェイス	USB 1.1
電源	USBバスパワー(約160mA)
アナログ入力	1系統(ステレオRCA)
マイク入力	1系統(3.5mmモノラルミニ)
アナログ出力	1系統(ステレオRCA)
ヘッドフォン出力	1系統(3.5mm ステレオミニ)
デジタル入力	光(角型)1系統※1 16bit・32/44.1/48kHz対応 Bit-Accurate対応※2
デジタル出力	光(角型)1系統※1 16bit・44.1/48kHz対応 Bit-Accurate対応※2 Dolby Digital/DTSパススルー出力対 応※3
スイッチ類	・モード切り替えスイッチ ・ヘッドフォンレベル調節ダイヤル
デバイスドライバ	DirectSound、MME、WDM
対応API	DirectSound / DirectSound 3D EAX 1.0 / 2.0※4 Open AL
対応OS	Windows Vista、またはWindows XP(Professional x64 Edition、または SP2以上)

※1 アナログ入力した信号を直接デジタル出力することはできません。またデジタル入力した信号をモニタリングすることもできません。

※2 Windows VistaではBit-Accurateは非対応となります

※3 Windows XPおよびWindows Vista 32bitのみ対応です。また

対応したソフトウェアDVDプレーヤーが別途必要になります

※4 ハードウェアアクセラレーションには対応しておりません

ENWA株式会社 サポートセンター

フリーダイヤル 0120-979-325

住所 〒550-0014

大阪市西区北堀江2丁目1番11号 久
我ビル北館8階

TEL:06-4390-3522 FAX:06-4390-3523

対応時間 9:00～17:30

※土曜日、日曜日、祝祭日、夏季、年末年始(12/2
9～1/4)は

対応しておりません。

サポート体制

本マニュアルの補足説明を中心に対応させていただきます。

状況にあわせて次の方法で対応させていただきます。

- ①電話対応
- ②有償による訪問設置調整

EN-SND100 取扱説明書

著 者 / 発行所: ENWA株式会社

初 版 2009年6月 1日

※本取扱説明書は、ENWA株式会社で製造・販売しております、ビデオ会議システム用無線音響Unit「EN-SND100」を正しく効率的に御利用頂くことを目的として弊社サポートセンターにおきまして、動作を検証し作成致しました。

※本書の一部または全部について、弊社の許諾を得ずに、いかなる方法においても無断で複写、複製する事を禁止致します。
